

「ふね遺産」（推薦様式）：A4 一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	対象物：原子力船「むつ」 所有者：日本原子力研究所 (現 日本原子力研究開発機構)	・「むつ」の原子炉室：むつ科学技術館に展示中 所有者：日本原子力研究開発機構 ・海洋地球観測船「みらい」： 所有者：海洋研究開発機構
2. 対象物の作成・存在時期	原子力船「むつ」 起工：1968年11月 進水：1969年6月 竣工：1991年2月 原子炉室撤去：1995年6月 船体引渡：1995年6月 原子炉室展示：1996年7月	「みらい」 「むつ」の船体を後利用 竣工：1996年8月 現在に至る。
3. 現状 (写真添付)	 原子力船「むつ」  「原子炉室」	 「みらい」
4. ふね遺産認定基準の該当項目(**)	【認定対象】(1) 【認定基準】(1)	
5. 歴史的・工学技術的意義	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の技術による原子力船の建造及び運航 ・船舶特有の負荷の変動への対応 ・原子炉の特性の予測 ・放射線の遮蔽、放射能の閉じ込め ・乗組員の養成 ・解役技術の確立、放射能汚染除去、船体後利用 	
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本造船学会論文集第123号(1968)「原子力第一船の波浪中動揺と加速度について」山内保文、大井浩、高石敬史、飯塚正文、吉野泰平、木原弘毅 ・造船協会論文集第105号(1959)「船体運動により船用原子炉に働く外力についての一考察」(川島栄一、坂尾 稔、田崎 亮) ・日本原子力研究開発機構公開資料(ホームページ) ・日本原子力学会：第1回原子力歴史構築賞 	

(*) No.は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する最もふさわしい項目一つを、文頭の番号で記載して下さい。